

平成 25 年度「全国学力・学習状況調査」分析（宇都宮市立清原北小学校 6 年）

【国語】★指導の工夫と改善

領域	本校の状況	今後の指導の重点
話すこと・ 聞くこと	A 領域の平均正答率は栃木県平均より 約 16 ポイント高い。 B 領域の平均正答率は栃木県平均より 約 18 ポイント高い。	スピーチの指導では、目的や意図に応じて、 自分の立場や結論を明確にした上で、スピー チ全体の構成や表現の工夫を考えさせる。 また、話し手の意図を捉えながら、スピー チを聞くようにさせる。
書くこと	A 領域の平均正答率は栃木県平均より 約 17 ポイント高い。 B 領域の平均正答率は栃木県平均より 約 17 ポイント高い。	作文指導において文と文の意味のつながり を考えて書くとともに、複数の内容を関係付 けながら自分の考えを書くよう指導する。 また、資料やイラストなどを効果的に取り 入れ、自分の考えを的確に書くことができる ようにさせる。
読むこと	A 領域の平均正答率は栃木県平均より 約 12 ポイント高い。 B 領域の平均正答率は栃木県平均より 約 20 ポイント高い。	読解能力を育むために、叙述に即した読み の指導を行う。また、読書活動の充実を図る。
伝統的な言語 文化と国語の 特質に関する 事項	A 領域の平均正答率は栃木県平均より 約 15 ポイント高い。 B 領域の平均正答率は栃木県平均より 約 16 ポイント高い。	学習した漢字や語句を確実に定着させるた めに反復練習やワークシートなどで復習させ る。また、宿題の充実を図る。

【算数】★指導の工夫と改善

領域	本校の状況	今後の指導の重点
数と計算	A 領域の平均正答率は栃木県平均より 約 6 ポイント高い。 B 領域の平均正答率は栃木県平均より 約 25 ポイント高い。	四捨五入をして概数で表す際に使用する表 現の仕方について確認し、適切に処理できる ようにする。 単位量当たりの大きさが、何を意味するの かを理解できるように復習をする。
量と測定	A 領域の平均正答率は栃木県平均より 約 12 ポイント高い。 B 領域の平均正答率は栃木県平均より 約 15 ポイント高い。	表やグラフの適切な読み取り方や様々な形 の面積の求め方を確認するとともに、それら を活用した発展問題にも積極的に挑戦させ る。
図形	A 領域の平均正答率は栃木県平均より 約 12 ポイント高い。 B 領域の平均正答率は栃木県平均より 約 11 ポイント高い。	見取図や展開図から面や辺の関係などを理 解できるようにするため、実物を活用して考 えたり、自分で見取図や展開図を描いたりで きるよう指導する。
数量関係	A 領域の平均正答率は栃木県平均より 約 7 ポイント高い。 B 領域の平均正答率は栃木県平均より 約 13 ポイント高い。	割合について数直線を活用して、答えを求 めることができるようにする。また、何を基 準として考えるとよいか、問題文から見通し が立てられるよう指導する。